

自治連だより

第3号

自治組織の統合を祝して



鳥取市自治連合会
会長 森 西辰良

鳥取市自治連合会は、去る六月一日をもって合併八地域の自治組織と統合し、一つとなりま

した。五月十二日、竹内鳥取市長・上田鳥取市議会副議長並びに各総合支所長立会のもと、各自治組織の代表が調印し、行政が合併した平成十六年十一月一日から二年半の時を経て、ようやく一本化することができました。

調印式は感無量のものがあり、会員の皆様と共に大きな喜びとし、祝福するものです。

自治組織と行政は車の両輪に例えられますが、住民自治の原則を貫きながら、行政との連携を緊密にし、住民福祉の向上・安全安心の「まちづくり」「地域づくり」に取り組むことが肝要です。それぞれの地域における伝統や文化を大切にしながら、それに基づく多種多様な運動に

住民自らが、汗して取り組むことにより、地域の活性化がなされるものと思います。

組織が一本化されて大きくなり、広大な地域を擁する中で、それぞれ地域における「地域づくり」は、会の目的と方針に基づいて、各地域のリーダーが、その地における実情に応じて、創造的に進めることが重要と考えます。

今、鳥取市は住民自治基本条例の制定に向けて、委員会を立ち上げて、原案づくりに取り組んでいるところです。この目的は、行政・議会・住民がそれぞれ果たすべき役割を定めるものです。これにより一層住民自治が進むものと考えられます。地域を変えられるのは住民自らの力であることを強調して挨拶とします。

美保南地区

活動の現状

美保南地区
会長 遠藤 潔

当地区は、昭和六十二年に美保地区から分離し、昨年で発足二十周年を迎えました。これを記念して、「美保南二十年のあゆみ」を発行し、竹内市長、中川教育長などのご臨席をいただき、十二月三日に記念式典と祝賀会を盛大に行いました。地域の新たなスタートに当たり、『安全・安心・元気なまちづくり』を目標に掲げ、地域づくりに取り組めます。



二十周年記念式典
(竹内鳥取市長あいさつ)

現在、十七町区一、六七九戸(町内会加入戸数)で構成されていますが、地域は新鳥取市の中央部に位置するとともに、地域内で国道二九号・五三号が交

差し、また、JR鳥取駅まで五分で到達できる交通の要所です。少子・高齢化や生活・住宅様式の多様化等が進む中、子どもの安全・防災対策など地域の運営には難しい面もありますが、鳥取市の中心地にふさわしい「住みよい元気な地域づくり」を目指して、地域が一体となって取り組んでいきたいと思えます。

当地域では、区長会が地区運営の中心となっており、区長会・公民館・各種団体(十二団体)等が一致協力して、毎年、次に掲げる六つの行事を「地区行事」と位置づけて開催しています。今後とも、より良い実施方法等を模索しながら引き継いでいきたいと思えます。

①新年互礼会 一月
区長会の主催により、毎年元旦に地区住民約一〇〇名が参加。

②美保南小学校教職員歓迎会 四月
区長会・小学校育友会・公民館の共催により、全教職員の参加を得て、約一〇〇名が参加。

③さわやか大運動会 五月
体育振興会が中心となり、区長会・公民館・関係団体が協力して実行委員会方式により開催。幼児からお年寄りまで約一、〇〇〇名の参加。

④納涼祭 八月
青少年育成協議会が中心とな



さわやか大運動会
(幼児の玉入れ)

り、区長会・公民館・各種団体が協力して実行委員会方式で開催。子ども会を中心に地区住民等約八〇〇名の参加。

⑤敬老祭 九月
社会福祉協議会が中心となり、区長会・公民館・関係団体が協力して実行委員会方式で開催。例年、一五〇名近くの参加。

⑥文化祭 十月又は十一月
公民館が中心となり、区長会・各種団体・各サークルが協力して実行委員会方式で開催。例年、二日間の開催で約一、〇〇〇名の来場者。



文化祭
(昔のおもちゃづくり)

稲葉山地区

活動の現状

稲葉山地区
会長 岡崎友光

平成十六年十一月八町村が鳥取市と合併し、人口二十万の新鳥取市が誕生しました。新鳥取市は「人が輝き、まちがきらめく、快適、環境都市、鳥取」を目指して着々と前進しています。鳥取市自治連合会も本年五月八地域の自治会と合併し、四十二の地区自治会による新たな鳥取市自治連合会として発足いたしました。

新生自治連の本当の活動は、これからだと思っております。自治連は、市民生活の安定のため自主的な活動を行っている団体であります。時には行政とのパイプ役になって連携して活動をしたり、地区に起こっている各種の課題を解決するため行政に要望するなどして、住みよい町づくりのために努力することその役割と思っております。鳥取市では、平成十九年度から二十二年度の四年間に防災行政無線施設を整備する計画です。地区としてもこれを契機に、地区自主防災会を充実強化していく必要があると考えています。

湖南地区

湖南地域の自治会活動ほか

吉岡地区
会長 中山 勇

湖南地域は、吉岡地区と大郷地区の二つの自治会の連携・協力によって地域運営がなされている。元々、行政区の異なる旧吉岡村と旧大郷村であったが、昭和の大合併により両村とも鳥取市に編入、保育園・小・中学校の統合により湖山池の南に位置する地、湖南として、それぞれの個性を生かしながら地域発展に向けた、単独・合同の自治会活動を行ってきている。

地域の特徴としては、山（無線中継基地のある毛無山・山城のあつた箕上山等）、谷（矢矯谷・洞谷の谷等）、川（ほたるの里・長柄川）、池（日本一の湖山池）、温泉（かつては鳥取市の奥座敷と呼ばれていた吉岡温泉）等、自然と景観に恵まれた地域であり、また、古代（弥生時代の松原谷田遺跡、百数十を数える古墳群、飛鳥・白鳳時代の吉岡大海庵寺跡等）から、戦国時代（秀吉の馬印の千成ひょうたんの一つを奪い取ったという吉岡氏の防己尾城跡等）・江戸時代（鳥取藩主の湯治場として、吉岡温泉の内湯宿としての

原形がつくられた。）といった長い歴史を持つ地域でもある。しかしながら現在では、他の山間地と同じく人口減・少子高齢化が進み、地域の弱体化が懸念されるため、自治会活動も地域力の増大や地域づくり、定住促進のための魅力作りに力を注いでいる。

昨年より、鳥取市の「きらめくまちづくり事業」の補助を受け、湖南は一つを合言葉に、古くて新しい古里づくりをテーマに、全住民の交流を目的とした「湖南地区まつり、盆踊り」を開催、多くの老若男女に楽しんでもらった。地域に残る伝統芸能の復活や継承、郷土料理の復活、新料理の開発など、住民が誇れるまつりとして根づかせていきたいと考えている。

この地域も子どもたちの通学環境の中で、声掛け事件が発生、地域の子どもは、地域を守るを率先して実施、学校・保護者・地域が一体となって防犯パトロール隊を組織し、下校時の児童の見守りを毎日行っている。また、自動車、自転車などでの見廻り、不審者、見慣れない人などに対し、農作業中でも注意してもらえよう呼びかけている。湖南地区は



防犯パトロール
(毎日徒歩児童の町内で同行)



湖南まつり

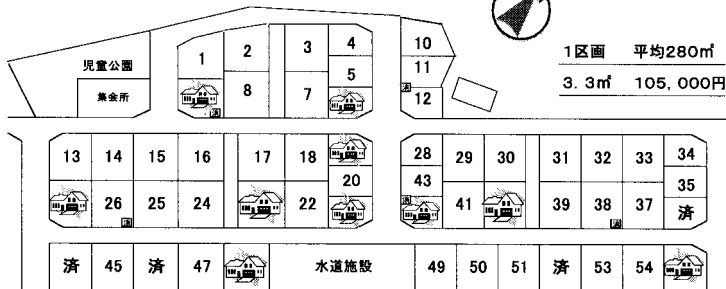
現在、向かい風と追い風が同居しており、そのための懸案事項も多くある。

歴史、景観、温泉と言った観光資源の問題では、縦割

行政の影響で、特に吉岡地区では、地域自治が弊害を受けていると感じる事もある。景観や自然・治山治水は地域住民が守り、それが市民保養や観光につながっていることを、理解していただき、漁夫の利にならないよう望んでいる。高速道路、鳥姫線に接続される山陰道路では、地域分断や水害、湖山池への影響の問題、二十年度開校予定の小中一貫校（県下初）の校舎の問題など、懸案ではあるが地域発展の好機として捉え自治会活動として取り組んでいる。

湖南は、小中一貫で学力も良い。マナーやルールも良い。個性も尊重され、学校も新しくなる？。地域が子どもを守ってくれる。また、山陰道のインターチェンジの陰で、市街地から近いし、どこへも行ける。温泉で疲れも取れる。日本一の湖山池、ほたる、市民農園があり、農業もしようと思えばできる。子育てや住むところにはもってこいなので、湖南に来んさい。

鹿野町湯川住宅団地分譲中



1区画 平均280㎡
3.3㎡ 105,000円

鳥取市土地開発公社より分譲地情報

湯川住宅団地は各区画ごとに温泉給湯が可能な団地です。毎日、マイホームで温泉を楽しむことができます。体にやさしく、住みやすい環境をご提案いたします。また、鳥取市では、鳥取市Uターン住宅支援事業もあります。支援等の情報は、公社・鳥取市の各ホームページでご覧頂けます。分譲地についてのお問い合わせは、お気軽にご連絡下さい。職員一同お待ちしております。

お問い合わせ先

鳥取市土地開発公社
〒680-0022 鳥取市西町2丁目311番地
TEL 0857-22-4742 FAX 0857-21-8074
URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~t-kousya/>
鳥取市鹿野町総合支所産業建設課
〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1517番地
TEL 0857-84-2012 FAX 0857-84-2598

国府町

鳥取市国府町は、鳥取市の東部地域に位置し、東は扇ノ山を境に兵庫県に、西は鳥取地域(旧鳥取市)に、南は八頭町に接している東西一八km、南北七km、面積九三・四kmの地域で、森林・原野が八割を占めています。

標高一、三二〇mの扇ノ山に源を発する一級河川の袋川は、町の中央を東西に貫流し、流域に広がる農地と四九集落、約八、七〇〇の人々を育み潤しながら、市街地を通り日本海へ注いでいます。国府町は、遠く奈良時代より因幡の国府が置かれ、国守には、万葉集の编者でも知られる大伴家持や小倉百人一首で有名な在原行平など著名な人たちが任命され、政治・経済・文化の中心地として栄え、町の名前の由来にもなっており、数多くの文化財が町内に点在しています。中でも、国指定文化財として、彩色壁画と方形壇を持つ八角形墳の梶山古墳、山陰地方で最大、最古の石造建築物の岡益の石堂、伽藍配置で謎を秘めた栃本廃寺跡、因幡国を治めていた役所跡の因幡国庁跡、江戸時代の墓所、因幡藩の歴代藩主、同族合わせて七〇数期の墓所、葉師三尊像と木造吉祥天立像などがある学行院など学術的価値の高い貴重な史跡、文化財が数多くあります。

また、県の無形民族文化財に指定されている、因幡の傘踊りの発祥の地として知られており、宇倍神社は、因幡の一の宮として長寿の神、官位昇進の神、財宝の神として県内外から多くの参拝者でにぎわっています。さらに、風光明媚な天然資源に恵まれた雨滝は、氷ノ山・後山・那岐山国定公園内にあり、本滝は高さ四〇mの大飛瀑で、「日本の滝一〇〇選」に選ばれており、布引の滝、菅滝など四八滝あるといわれています。

その一方、鳥取市の中心部から約一三kmの地点に都市型ダムとして「殿ダム」が建設されています。このダムは、千代川総合開発事業の一環として、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道・工業用水、発電の供給と観光を目的とした多目的ダムで、国の直轄事業として平成十九年度から本体工事に着手されます。ダムの本体は、高さ七三m、総貯水量一、二四〇万m³のロックアップダムで、平成二十三年度の完成を目指して事業が進められ、合わせてダム周辺の整備による地域づくりも一体的に進められ、「万葉のふるさと国府」の歴史・文化・自然と調和した新たな景勝地が誕生するものと思っております。

また、地方分権一括法の施行により、国・県・市町村の関係も対等に、協力し合う関係へと変わってきました。鳥取市の関係も況の中で市町村合併も進み、国の三位一体改革が押し進められ、全国各地でコミュニティ活動を活発にした住民主体の協働のまちづくりの取り組みが進められており、国府地域では、地域振興のテーマを「公衆道徳を守り、安心して暮らせる、美しい郷土を築きましょう」として、「万葉のふるさと国府」をキャッチフレーズに、地域住民が精神的・経済的に豊かに生活するために、伝統的な歴史や文化を大切に継承しながら、また、地域住民が快適で潤いのある生活を営むため、自然との共生を大切に、緑豊かな地域づくりを進めるとともに、安全で快適な生活環境づくりを推進し、「安心して暮らせる美しい郷土」を次世代に引き継ぐ取り組みを、住民・各種団体・行政が協働してまちづくりを推進し地域の活性化を築いていきます。



福部町

一 福部町の概要
福部町は、鳥取市の東北端に位置し、北は風光明媚な日本海、東は岩美町に接し、面積は三四・九四km²、その三割が平地であり、人口は約三、四〇〇人です。

昭和三年四月、旧塩見村と旧服部村が合併し、旧福部村が誕生しました。旧福部村は昭和三十年前後の「昭和の大合併」ではどこも合併せず単独存続の道を選びましたが、「平成の大合併」では鳥取市として新たなことを選択し、平成十六年十一月一日鳥取市福部町として新設発足をしました。平成十六年十一月一日鳥取市内には二一の集落があり、地域の清掃活動、納涼祭、諸行事等、集落活動に関わる様々な活動を行っています。

集落の代表者は区長と呼ばれ、平成十七年四月、区長の連合体である「鳥取市福部町区長会」を設立し、会員相互の連携と明るく住みよいまちづくりを目指して活動を行っています。

二 福部町の特徴

鳥取砂丘を含まぬ山陰海岸は昭和三十年に国定公園に指定され、昭和三十八年には国立公園に昇格しています。鳥取砂丘は、東は馳馳山から西は気多岬に至る東西一六km、南北二kmの海岸砂丘の総称であり、東から福部、浜坂、湖山、白兔などの砂丘群からなっています。一般的にいわれる「鳥取砂丘」は、鳥取市浜坂と福部町にまたがる浜坂砂丘で、砂丘群の中でも特に景観に優れ、観光客のものも多く訪れる場所です。

鳥取砂丘は、砂と風が織り成す「風紋」や「砂簾」、またスリパチと呼ばれる窪地など独特の景観を呈し、「コウボウムギ」、「ハマゴウ」、「ハマヒルガオ」などの海浜植物が繁茂しています。鳥取砂丘東側の福部砂丘では、砂丘地を開墾し、「砂丘らっきょう」が栽培されています。砂丘らっきょうの始まりは、「砂丘らっきょう」の栽培は「江戸時代」に参勤交代の随行者が持ち帰った」とか、「伊勢参りの村人が伊勢地方から持ち帰った」とか伝えられています。当初は海岸部のごく少数の農家が自家用に栽培していたに過ぎませんでした。その後徐々に生産は拡大しましたが、昭和四十年代に砂丘地の圃場整備、灌漑施設の整備によって飛躍的に栽培面積が増大し、現在は日本有数のらっきょうの産地になっています。

砂地で作る「砂丘らっきょう」は、色が白く歯ざわりが良く、好評で全国に出荷されています。また、らっきょうは近年健康食品として全国的に注目されています。

福部砂丘は、秋になると可憐ならっきょうの花で赤紫色に染まり、その美しい景色は愛好家も多く毎年たくさんの方々が訪れています。

三 福部町の課題
福部町の中心部は低地のため、降雨のたびに南北に貫流する二級河川塩見川が度々溢れ、道路や田畑の冠水、住宅の浸水等の被害をもたらす、住民生活に多大な支障を与えています。昭和五十年代より県が塩見川の河川改修事業を行っていますが、その歩みは遅々たるものであり、一層の促進と早期整備が望まれています。



「明日をひらく」

わたしたちは創造します...

「ひと」と人の心がふれあう水と緑と食の里づくり



JA鳥取いなば

代表理事組合長 中島 建

鳥取いなば農業協同組合 〒680-0942 鳥取市湖山町東5丁目 261 TEL0857-32-1100(代)/FAX0857-32-1130

医療と福祉の郷 はまゆう

- 老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- 診療所
- ショートステイ
- デイケア
- デイサービス
- 訪問看護
- 居宅介護支援
- グループホーム

医療法人 賛幸会 鳥取市野寺 TEL51-7801

社会福祉法人 賛幸会 鳥取市服部 TEL51-7838

河原町

河原町は一級河川「千代川」とそれに合流する八東川、曳田川などの支流沿いに開けた町で、鳥取県東部のほぼ中央に位置しています。南北に九・三km、東西には一七・六kmと細長く、海拔は二〇mから一、〇〇〇mまでと標高差の大きい変化に富んだ地形です。

本町は早くから拓けた地域で、古代は因幡国八上郡の中心として栄え、古事記には、八上姫をはじめとして、地域にゆかりの深い人物や地名が記されています。また、中・近世の戦国時代には多くの山城が築かれ要所だったことがうかがえます。羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）の謝状や地域の寺院にある武将の墓なども、当時の様子を語るものとなっています。

鳥取県には、日本の童謡・唱歌の名作を世に送り出した音楽家が多くいますが、そんな彼らの生みの親といえる物理学者で教育者の村岡範為^{（むらおか のりむね）}は河原町の出身です。漂泊の詩人伊良子清白^{（いらいし せいへい）}や偉才の俳歌人田中寒楼^{（たなか せむぎ）}もまた河原町に生まれています。

自然や文化芸術に目を向けると、高さ・眺望・気流と三拍子そろったハンゲライダー・パラグライダーのフライトエリア「霊石山」や、伝統の用の美を作り出す民芸窯元は、今や全国に広く知られており、中国横断道「姫路鳥取線」の開通とともに、ますます地域の拠点として、発展が期待されています。

現在・河原町地域には五地区四五集落あり、それぞれの地区や集落では、自治会活動や伝統行事の継承、奉仕活動、運動会などが行われています。住宅地開発で新たに大きな集落が形成される一方で、高齢化、過疎化の傾向が年々顕著になり、活動もままならない集落も増え、受け継いできた農地・山林の保全や、地域のつながりをどう補っていかうかが大きな課題となっています。また、高齢世帯の増加は、集落の活動費にも影響していくことが考えられ、自主経費のみでの活動に限界がきています。

一方、少子化もたいへん深刻な問題で、老朽化した保育園や小・中学校の統廃合が危惧されています。保育園・小学校は地域の活性化の中心的存在となっており、この保育園・小学校がなくなることで、若年層の多くの世帯が旧市街地などに流出し、「地域の活力の衰えに拍車がかかるのではないかと心配する多くの声を耳にします。

今回の鳥取市自治連合会への統合により、集落や地区の活性化につなげていく活動に出会えるよう期待し、河原町地域だけでなく鳥取市全体のつながりが強まり、お互いに発展していくことを望んでいます。



用瀬町

用瀬町は、町内を千代川が縦断し、また面積の九〇%以上を山林が占める、自然豊かな町です。また、古くから都と因幡地方を結ぶ往來の要所として栄えた、歴史深い町でもあります。

（伝統）
用瀬町の伝統といえば、誰もが一番に「流しびな」を挙げるでしょう。「ひな流し」は、その歴史を古く平安時代にさかのぼるといわれています。もともとは日本各地で行われていたようですが、現在その風習を残す所は全国でも数えるほどとなりました。用瀬町では、旧暦の三月三日に「流しびな行事」を行っており、当日は県内外から訪れる多くの観光客がその情景を楽しんでいます。

（自然の造形美）
用瀬町内には、千代川の支流として、佐治川・赤波川・安蔵川が流れています。赤波川では、川のかぼみに入った小石などが水の流れてかき混ぜられてくぼみを削り、見事な穴「罎穴（おうけつ）群」を造り出し、見る者をひきつけています。また、安蔵川の支流である中津美川上流には大小の滝が流れており、「中津美溪谷」として知る人ぞ知る名所となっています。

（農業と工業）
用瀬の産業は、稲作とナシなどの果樹栽培を主体とした農業が重要な役割を果たしています。工業では、町が誘致した企業を中心に各社が製品の開発を行い、雇用の確保や町の活性化に一役買っています。

（町）
「さして取り上げるほどの産業がないにもかかわらず、どこかなくのどかで、こせこせしない、鄙（ひな）びたやすらぎの漂う田舎町だ」と、推理小説作家内田康夫は用瀬町をこう表現しています。たしかに目立った所はないかもしれませんが、用瀬の人々は美しい自然に囲まれながら、穏やかに、そして地道に、伝統と風土を守ってきたといえるかもしれません。

（望むこと）
市町村合併後、「行政が、福祉が遠くなった気がする」との話をよく耳にします。このような話を払しょくするためにも、また鳥取市全体が発展するためにも、次の二点について切望します。まず、都市部と中山間地との間に格差のない行政、中山間地は、ますます少子高齢化が進んでいます。この現実の中で少しでも住みやすくしていくためには、「より身近に行政・福祉機関が存在」していただくこと、これが必要不可欠でしょう。もし中山間地に人が住まなくなれば、山は荒れ、川の水は汚れ枯渇し、下流部においても、中山間地に「日の当たる行政」、「充実した福祉の執行」を期待しています。

次に、画一的ではない特色ある町づくり。それぞれの町には、古くからの歴史・生い立ち・風土があります。所が違えば、その顔にもおのずと違いが出るでしょう。それを特色とし、その特色を生かした町づくりを望みます。



砂川サイクル 鳥取市吉成510 TEL 24-0311 AM8:00~PM7:30

配達無料 / お買い上げ自転車の出張費無料 / アフターサービス好評

砂川サイクル 駅南店 **ピオ P10** 鳥取市興南町33 タケタスポーツ内 TEL 20-2360 AM10:00~PM7:30

団体旅行からハネムーンまで 日本の旅から世界の旅へ

株式会社 新日本観光センター

本社 鳥取市二階町3丁目206-3 (新日本観光ビル) ☎ (0857) 24-4175

鳥取支店 鳥取市扇町71番地 ビエントビル1F (鳥取駅南ローソン隣) ☎ (0857) 27-1122

佐治町

佐治町は、東西に水清らかな佐治川が流れ、この川に沿って国道四八二号線が走る佐治谷七里の豊かな自然の中に集落が広がっています。

佐治町自治連合会は、二七集落、八二三世帯の約二、六〇〇人で構成されています。また、旧小学校区ごとに地区会（振興協議会）が組織されており、住民のみなさんが共に声を掛け合い、共に協力しあい、暮らしやすい佐治町となるよう活動しています。佐治町では、佐治が誇る「和紙」「梨」「星」「石」「話」この五つの「し」を柱に地域の活性化を進めています。

伝統の極み「因州和紙（わし）」

佐治和紙の歴史は千年以上を遡り、今なお伝統の中で培われてきた技法を受け継いでいます。生活の厳しさの中から生まれ、手から手へと伝えられる和紙の温かさを感じます。

大地の恵み「佐治の梨（なし）」

山あいのなだらかな斜面一面に白い花が咲く春の風景、日本の代表品種である「二十世紀梨」は、佐治町の特産品です。自然と人のあたたかい愛情に包まれて旬の味を育む梨を日本・世界へ届けます。

夜空のロマン「星（ほし）」

無数の星の輝きは、銀河系を超えてさじアストロパーク「佐治天文台」へとやってきました。満天の星空を臨み宇宙に出会う瞬間、生命の神秘を感じ、心ゆくまで星との会話を楽しみたくなります。

銘石のふるさと「佐治川の石（いし）」

佐治川石は日本三大銘石のひとつです。時の流れとともに佐治川の清流に養われ、一つ一つの石に歴史と和みがあります。彫刻美あふれる不動の石にやすらぎさえ感じられます。

語りよりの温もり「佐治谷話（はなし）」

あんなー昔むかし・・・いつからか「佐治谷話」と呼ばれ伝えられてきたユーモアあふれ、人情味ある昔話が数多く、先人たちが遺した文化遺産として見直されつつあります。方言での語りが保存伝承されている佐治谷話をまあいっぺん聴いてみてください。

佐治町でも高齢化・少子化・過疎化が進んでいます。地域活性化のための各種事業が行われていますが、常に地域住民のことを考えながら、行政・自治会などが共に手とり心をとりに地域のために活動していただけることを望みます。



気高町

【地勢】

気高地域は、面積三四・二八km²、人口は九、六六一人（百十九・六・一現在）です。北は白砂青松の日本海に、南は鹿野地域、西は青谷地域、東は鳥取地域に接しています。国道九号線が海岸線沿いに走り、JR山陰線には浜村駅と宝木駅があり、鳥取空港へは約一四kmと交通の便に恵まれた地域です。

【産業】

主な産業は農業が中心で、そのほか酒津・船磯漁港を基地とした漁業、商工業と続きます。

観光面では「浜村温泉」と「貝がら節」が有名ですが、国民の「温泉・保養」に対するニーズの変化から利用客の激減が見られ、現在の温泉街は以前の活気は見られなくなっており、地域おこし対策が求められています。

【イベント】

地域の活性化と伝統文化の継承のため、次のような行事を行っており、県内外から多くの方々への参加をいただき、盛大に開催しています。

・毎年八月第一金曜日と土曜日に地域をあげて「貝がら節まつり」を開催しています。シーフードパークベキュー、大水中花火大会、貝がら節総踊りなどで賑わっています。

・商工会青年部が中心となつて、十月初旬の日曜日に「気多の市」を実施しています。温泉街を歩行者天国とし商工会関係者の出店やフリーマーケットが立ち並び、往事の賑わいはこうであつた、だろうと思わせます。

・東南アジアの漁法を伝える「大堤のうぐい突き」が十月中旬の日曜日に行われています。釣り大会やうぐい突きを楽しんだ後、鯉こけ汁、新米おにぎりの振る舞いがあります。

・中国四省の中学校選抜チームが熱戦を繰り広げる「スカロツプ杯中学生バレーボール大会」は、選手・役員・保護者など約三〇〇人が関わる大きな大会です。

【民俗文化】

・毎年六月初旬に宝木・水尻など県東部で行われている「因幡の菖蒲綱引き」が、昭和六十二年一月八日に国指定重要無形文化財に指定されています。

・平成三年一月二十五日に県指定無形民俗文化財に指定されていた「酒津のとんどろ」が、平成十九年三月七日に国指定重要無形文化財に指定されました。この行事は、例年正月十五日に行われる神送りと一年の無病を願う行事で、小学校の男の子が中心になって行います。

・四月下旬に姫路神社で行われる「百手の神事」は、昭和四十三年十二月二十五日に県指定無形民俗文化財に指定されています。昔は全国各地で行われていましたが次第に廃れ、この姫路神社だけになったといわれています。



鳥取市賀露西浜土地地区画整理事業

賀露に美しい町誕生【賀露西浜ニュータウン】

宅地分譲のご案内

造成工事完成

上下水道負担金不要

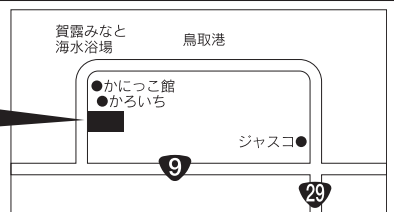
到着順受付中

お問い合わせ

1 宅地平均面積：220m² (66坪)

1 宅地平均単価：41,000円/m² (135,500円/坪)

鳥取市賀露西浜土地地区画整理組合
理事長 小林 増夫
☎ 0857-28-3596



鹿野町



桜の名所鹿野城跡公園



鹿野ゆめ本陣
NPOいしゆ鹿野まちづくり協議会の活動拠点。空き屋だった町屋を改修しました。

六月の合併により組織は一体となり... 鹿野町地域の良さ、

鹿野町地域の良さ、

鹿野町は、中心市街地から西へ約20km、時間にして約30分の距離にあり、地区面積は五二・七七kmで鳥取市全体のおよそ七%を占めています。

青谷町

蒼い海と弥生の里「あおや」

展示館では、弥生人の脳や日常用品さらに、祭祀や交流に関わる三七〇点の遺物を展示して皆様のお越しをお待ちしています。

全国的に生産量を誇る因州和紙は、清らかな水に恵まれ、とくに江戸時代には藩の御用紙として手厚くされたことから独自の製紙技法を確立し、因州和紙の地位を不動のものとししました。

また、地形上滝が多く、なかでも不動滝は霊場として広く知られ、六月と九月の縁日には、「湯三昧」と称する山伏の荒行が行われます。

また、青谷町は、町の南には鉢伏山など五〇〇m以上の山がそびえ、山あいの里には、水田が階段状に並んだ棚田を見ることが出来る、水量豊かな山々に源を発する溪流は、清らかな流れを保ち青谷の大地を潤しています。

長尾岬一帯の海岸は、海の怒涛に浸食された断崖・岩礁・奇岩等が連続する岩石海岸で、西因幡県立自然公園の中でも有数の景観を誇り、スズキ・黒鯛などの絶好の釣り場として一年中多くの太公望で賑わいます。



株式会社 オートフレンド
AUTOFRIEND
〒680-0801 鳥取市松並町2丁目420-1
Tel:(0857)22-1777 Fax:(0857)22-1776
Home Page●http://www.autofriend.tv/
E-mail ■ info@autofriend.tv
スズキアリーナ鳥取東
中国運輸局認証整備工場
〒680-0874 鳥取市叶415-1
Tel:(0857)51-7200 Fax:(0857)51-7210
Home Page●http://www.autofriend.tv/
E-mail ■ info@autofriend.tv

手に入れよう
夢とライセンス
鳥取県公安委員会指定
株式会社 日本海自動車学校
鳥取市湖山町東4丁目55番地 (0120)28-2313
http://www.web-nihonkai.com/school/

研修活動の推進

自治連合会の主要な事業として、自治活動の充実と発展を目的にさまざまな研修活動を行っています。

その一つとして、毎年自治会活動の先進地を視察し、互いの情報や意見交換をするとともに、自治組織の皆さんとの交流を図ることとしています。

研修視察先

実施年	視 察 先	テ ー マ
14年度	香川県 さぬき市	合併に伴う自治会活動について
15年度	滋賀県 大津市	環境保全、美化活動について
16年度	岡山県 岡山市	電子町内会について
17年度	広島県 呉 市	地域コミュニティ活動について
18年度	京都府 舞鶴市	市民協働型まちづくりについて



さて、鳥取市自治連合会は、今年度総会において合併調印、六月一日正式合併いたしました。平成十五年、鳥取市及び八つの地域の統合をめざして、特別委員会を設置し協議を続けてきました。その間、平成十四年には、さぬき市自治連合会、平成十七年、呉市自治連合会を視察し、市町村合併に伴う自治会活動のあり方について研修を行うなど、タイムリーなテーマに沿った先進地を選定しています。



七月五日（木）、奈良県生駒市役所を訪問。鳥取市二十七名、上埜生駒市自治連合会会長を始め十一名が参加して、活発な意見交換を行いました。

速報 十九年度 研修視察

その他の研修については、他県からの視察受入れ（十八年度：生駒市、出雲市）を始め、姫路市とは毎年交互に訪問し交流を続けており、今年度からは岡山市を加え三市による交流を始めの予定です。さらに、町内会長を対象とした交流研修を実施できればと考えています。

平成19年度事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
☆ 地区会長会	★ 総会	☆ 先進地視察	☆ 地区会長会	☆ 地区要望書の提出	☆ 地区会長会	★ 岡山市、姫路市交流会	☆ 地区会長会	☆ 地区会長会	☆ 地区会長会	☆ 地区会長会	☆ 地区会長会
★ 監査会 役員会	★ 役員会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会	★ 正副 会長会
		☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会	☆ 組織検討委員会
		★ 広報委員会				★ 広報委員会					

お買得いっぱい! ジャスコ鳥取店

毎週恒例
火曜日
土曜日

毎月
20・30日は

お客さま感謝デー

●毎週土曜日午後12時まで…お魚大市開催
鳥取市天神町1番地 TEL 0857-21-2555
営業時間：9時～23時（一部専門店は除きます）

TOSC
トスク株式会社

地元とともに____。
暮らしとともに____。
トスクです。

ちょっと一言

久松地区
会長 久林 肇

鳥取市では、自治組織単位の活動を基本とした自立、互助による自主性のあるまちづくり、人づくりを積極的に支援しています。

また、市民と行政とが協働による住民自治を推進するための『住民自治基本条例』（仮称）の制定に取り組んでいます。

この様な状況のなか、地域づくりに大切な基礎集団である自治会の果たす役割は、ますます重要になってきております。

一方では、町内会長の短期交替の傾向が進み、自治機能を維持するのが難しくなってきました。

ちなみに、平成十七年度及び、十八年度自治連合会名簿によると総町内会数のうち、町内会長が交替している町内会の割合は、それぞれ五五%、五八%となっています。

市民と行政のはざまにある連合会の使命は、自治会の有り方は……と、思考している今日この頃です。

面影地区

会長 福山 宣明

第三十五代アメリカ大統領ジョージ・F・ケネディが「我が同胞のアメリカ人よ、あなたの国家があるために何をしてくれるかではなく、あなたがあなたの国家のために何ができるのかを問おうではないか」と就任演説したのは四十六年前です。

最近、私たち市民は鳥取市から「地方分権自治の時代になり、今までの陳情要請型から政策提案・協働実行型へ転換を図ることが大切だ」と言われています。その一例として「きらめくまちづくり事業」(公民館の活用策と今後のあり方)「住民自治基本条例の制定」など矢継ぎ早に提案され、事業参画の意思や意見を求められています。

鳥取市の市民の声を聴く姿勢に伝えるため、諸施策に対し自分の住んでいる地域のこととして関心を持ち、出前説明会などに積極的に参加し膝をのりだし語り合うべきだと思えます。

大郷地区

会長 小林 克

鳥取市人口増加対策の一環として、鳥取市ふるさと定住促進連絡会が五月二十九日に発足し、自治連も一員として参加しております。人口増の特効薬は見い出せない現状ですが、官民一体となり信念を持ってこの問題に取り組むべきと思えます。

近年、結婚適齢者が独身のままという姿に接することが多々あります。それぞれ事情もあろうかと思いますが、日本書記にある「ナカヒト」(ナカトリモチ・紹介者の意)的役割に心がけてみてはどうでしょうか。

さらに、行政施策としても積極的に取り組めば結果として、人口増につながるものと確信しています。勿論、結婚後、鳥取市に定住して戴くことも大切なことであります。

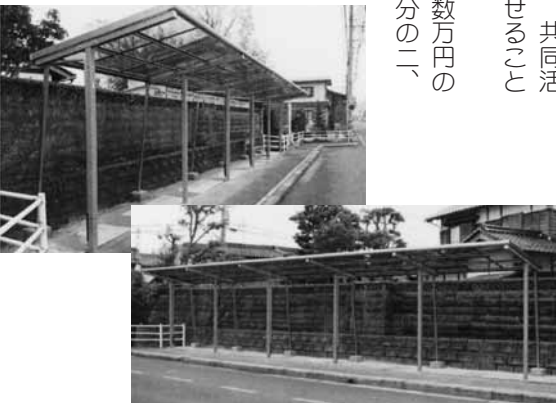
協同活動で完成したバス停上屋

三地区自治連絡協議会

バス停近くの世紀小学校に通う児童が多く(百数十名)利用していることから、三地区(明治・豊実・松保)の自治会が協力し、安全に配慮した「自主設計」から「財源の捻出」「地元企業への協力要請」など、共同活動を進め完成させることができました。

事業費は、百数万円のうち鳥取市が三分の一、地元が三分の一を負担することとなりましたが、地元負担分には、地元企業協力による寄付金もあつて、住民負担の軽減に心がけました。

現在では、バス停を利用する



児童をはじめ、地域の人々とりわけ、医療機関を利用する高齢者等から喜ばれております。今後、地域における連携活動を拡充させ、課題の解決や実現に繋げていきたいと思っております。

編集後記

鳥取市自治連合会の統合を記念し、特集号として「第三号」を発刊する運びとなりました。

今回は、先ず合併八地域を「より深く・より広く」理解するという立場から、概要や特色・要望・課題など寄稿をお願いしました。また、住民自治の振興に資す

るため、先進的な活動を実践している自治会組織の活動紹介と併せ、自治連や行政機関に対する貴重な提言をいただき、花を添えていただきました。

次号は、さらに創意・工夫を凝らし、内容の充実に努めたいと思っております。多忙な折、玉稿をお寄せくださった各位に深謝して、後記とします。

湖山池の風情に抱かれた、寛ぎの霞の里温泉



ご宿泊・ご宴会承ります。送迎サービスもご用意。お尋ね下さい。



鳥取市金沢6 TEL(0857)57-0301 www.lakedaiju.jp